

石川の印刷

IPIIA

ISHIKAWA PRINTING INDUSTRY ASSOCIATION

CONTENTS

平成29年度 石川県印刷工業組合通常総会

■平成28年度事業報告・決算 / 平成29年度事業計画収支予算決定

中部地区印刷協議会(富山県)

■平成29年度上期会議開催

■分科会・理事長会報告

平成29年度 第1回理事会

オフセット印刷技能検定試験

(実技講習 / 実技試験 / 学科技術講習会)

印刷関連企業情報

石川県印刷関連団体協議会

平成29年度 総会及びセミナー

今後の予定 / 会員短信

発行

石川県印刷工業組合

石川県金沢市玉鉾4丁目160

TEL.076-291-0557

<http://www.ishikawa-pia.jp/>

平成29年(2017年)8月30日発行

NO.

294

平成29年度

石川県印刷工業組合通常総会

日時 平成29年5月13日(土) 午後5時開会
場所 和倉温泉 あへの風 フェスティバルホール鳳凰
参加者 総会(本人出席:26名、委任状53名)
懇親会23名、宿泊19名

今年度の通常総会は、能登支部での開催となり、和倉温泉 加賀屋姉妹館茶寮の宿「あへの風」を会場に行われた。通常総会の開催地を金沢に限定することなく、各支部の組合員との交流を深めるため一昨年は、加賀支部での開催に引き続き、今年は能登支部を会場とした。

最初に吉田理事長の挨拶では、本総会を開催するに当たり尽力をして頂いた涌浦能登支部長をはじめ支部関係者に謝意を述べ、また、会場の参加者には平成28年度の事業報告、決算、平成29年度の事業計画、予算と組合の重要行事である総会の慎重審議をお願いした。なお、吉田理事長の挨拶の中で、組合現況について理事長の想いを述べる形で、組合が今抱えている課題について次のように述べた。

『始めに一番懸念をしているのは、賦課金の収入の減少と合わせて組合員の減少である。組合員数は、最盛期199社が、現在は79社となり、賦課金収入も最大

2500万円あった時期から見ると、現在は1200万円足りずと半減している。もちろん、組合員増強の努力は継続させる必要があるが、賦課金の有り方についても議論をする時期になって来たと考えている。次に、印刷会館の老朽化である。決算の数字にも表れているが、緊急に修理・修繕をしなければならない事例がこのところ頻発している。賦課金が減少する中、事業費の確保ということで、セミナーの有料化や広報誌の広告収入の確保などで収益の改善を図るものの、修理・修繕に伴う出費により、せっかく確保したお金が減ってしまう現象が現れている。そこで、このようなことを放置せず、真摯に向き合って対処したいと考えている。

また、業界の今後について、これからも印刷業界が社会に必要とされる業種となって行くためには、美しい組版や素晴らしい技術を持ったプロの集団であることを世の中の方に、もう一度思い出してもらうことが必要と



思っている。そのプロとしての証明ということで、オフセット印刷技能検定やDTPなどの検定事業を行っている。この検定事業の価値を高めて行くためにも、これからも大切したいと考えている。また、昨今話題である「働き方改革」や「リスクアセスメント」など年々厳しくなっている法的な規制についても組合員の事業経営の中で、落とし穴にならないようにきっちりと組合から情報を発信して行くつもりである。とはいえ、やはり組合の基盤は、組合員企業同士の連帯から始まると思っている。組合員企業の絆を深めるイベント等の厚生事業も引き続き行いたいと考えている。』（以上、事務局要約）

引き続き、木村常務理事の司会で進行し、議長に島常務理事を選出し各議案の審議が行われた。

議案の審議は、以下の通り。（平成28年度事業報告及び決算、平成29年度事業計画及び予算等の詳細は、既に配布済みの平成29年度通常総会資料を参照）

◎第1号議案

平成28年度 事業報告及び決算関係書類承認の件

平成28年度事業概要を出村副理事長が、実施事業説明を大村副理事長が行い、決算関係を小杉専務理事が説明をした。引き続き、監査報告となるが、今回、橋本、千田両監事が欠席した為、事務局より両監事による監査により監査報告書を受領した旨の報告を行った。以上を議場に諮ったところ、満場異議なく原案の通り承認された。

◎第2号議案

平成29年度 事業計画及び収支予算（案）決定の件

平成29年度事業計画と実施事業の説明を北川副理事長が行い、収支予算を小杉専務理事が説明を行った後、こ

れを議場に諮ったところ、満場異議なく原案通り決定をした。

◎第3号議案

平成29年度 経費の賦課及び徴収方法（案）決定の件

吉田理事長より原案の説明が行われ、これを議場に諮ったところ満場異議なく原案通り決定をした。

◎第4号議案

平成29年度 借入金残高最高限度額決定の件

吉田理事長より、例年と同様の方法で行う旨の説明が行われ、これを議場に諮ったところ満場異議なく原案通り、3000万円に決定をした。

◎第5号議案

役員（理事）選任の件

平成29年3月末をもって山本守之理事が(株)ショセキの代表者退任により当工組の理事を退任した。その為、理事に欠員が生じ、現在、(株)ショセキの代表者である谷村和宏氏を理事に就任する件について、議場に諮ったところ満場異議なく原案通り決定をした。

その後、谷村新理事から理事就任の挨拶を受け、平成29年度通常総会の全ての審議が午後5時40分に終了した。

引き続き、6時40分から田中常務理事の司会で懇親会が開かれた。今回は、能登支部から、斉藤印刷出版の斉藤秀雄氏が地元で副会長を務めている「七尾まだら伝承会」総勢16名により、石川県指定無形民俗文化財「七尾まだら」と地域に伝わる伝統の唄と舞いの披露が行われた。出席者一同は、「能登のおもてなしの心」に触れ、夜が更けるまで組合員相互の交流を深めた。

中部地区 印刷協議会

平成29年度上期会議 (富山県会議) 開催

全印工連 平成29年度の基本方針・事業企画が発表される。
(愛知・岐阜・三重・富山・石川の各県工組より73名が出席)

日 時：平成29年6月16日（金）午後1時開会

場 所：オークス カナルパークホテル富山（富山市牛島町11-1）

石川県工組からの出席者：吉田理事長、出村副理事長、大村副理事長、小島常務理事
田上常務理事、田中常務理事、西川事務局長（計7名）

冒頭、開催県を代表して富山県印刷工業組合 楠 行博理事長から、「今日は、臼田会長始め中部5県工組の皆さまに富山県にお越しいただいた。同じ業界の仲間から学んだことを経営に活かしていけることが組合のメリットである。この地区協が有益な情報交換の場となることに期待したい。富山県工組では、将来を担う若手組合員に、このような会議に慣れていただくことを目的に参加させた。」と述べた。

次に、中部地区印刷協議会 四橋英児会長から「官公需での印刷会社の知的財産権保護問題では、7月に閣議決定する『中小企業者に対する国等の契約方針』で、我々の要望がどの程度反映されるかが注目される。国との交渉では、自民党中小印刷産業振興議員連盟の力を借りたが、そうしたロビー活動も重要だ。業界発展のため、我々は今後も様々な課題を乗り越えていかなければならない。」と話した。

そして、全日本印刷工業組合連合会 臼田真人会長は、「社会が急速に変化する中、我々も会社を変革していかなければ生き残れない。変革を進めるには、有益な情報を数多く集めるとともに、様々な課題の解決に取り組む必要があるが、中小印刷業が一社単体でそれを行うことは難しい。そこで志を同じくした仲間と結束し、情報交換を密にして共通の課題に立ち向かうことこそが組合の存在意義である。ぜひ組合のメリットを理解いただき、今後も組合事業に積極的に参加してほしい。また、印刷産業は基幹産業であることを積極的にPRしていくことも必要である。

なお、官公需取引の改善では、大きな山が動こうとしている。

①価格転嫁問題、②地元企業優先、③最低価格制度、④財産権の保護を含む「国等の契約の基本方針」が7月に閣議決定される見込みである。」と語った。



◇ 全体会議(前半)の主な内容

- (1) 平成28年度収支決算、平成29年度予算(案) 審議
平成28年度収支決算書 資料2平成29年度年会費及び予算(案)について
中部地区印刷協議会 安藤事務局長より一括して説明。
四橋会長(議長)により審議。採決に入り原案どおり承認。
- (2) 全印工連事業概要説 (全印工連 生井専務理事)

【全印工連平成29年度事業計画】

1 平成29年度全印工連組織・委員会機構について

2 基本方針・事業計画

- ・経営革新マーケティング事業
新陳代謝の促進を目的とする事業継承支援を推進するため、事業継承セミナー等を開催する。
経営イノベーション支援の推進としてソリューション・プロバイダーへの支援等を実施する。
- ・環境労務事業
GP認定制度の普及拡大とその前段階となる「環境推進工場登録」の普及推進を図る。
適切な労務管理と従業員の健康障害防止を図るため、労働関係法令や労働安全衛生法の改正情報を提供する。
- ・組織共済事業
各種共済制度の推進を図るとともに、組合加入促進に関する情報収集、提供を行う
- ・教育研修事業
制度教育事業の再構築に向け、管理印刷営業講座・管理印刷営業士認定試験の見直しや、印刷生産技術講座・印刷生産士認定試験の見直しを行うとともに、技能検定「製版職種(DTP作業)」の普及啓発に努める。
- ・産業戦略デザイン
印刷産業PRを目的に、対外広報・発信力強化に取り組むとともに、「全印工連2025計画」の普及啓発に努める。
- ・ダイバーシティ事業
育児・子育て・介護をやすくし、復職率を向上させること及び、時短勤務・在宅勤務の活用で労働力の質・量を高める施策の普及啓発に努める。
- ・CSR事業
災害時の事業継続のための工組間における協定の策定検討や、メディア・ユニバーサルデザイン(MUD)活動を推進する。

3 組合支援セミナー

平成29年度は、9つのセミナーを用意しているので積極的に活用してほしい。

【参加及び依頼事項】

1 全印工連フォーラムの開催

- (1) 日時 10月6日(金) 13:00～
(各種委員会、全体会議、懇親会)
- (2) 場所 熱海後楽園ホテル

2 CSR認定

(ワンスター、ツースター、スリースター)の募集
平成29年5月現在の認定企業は、107社である。
今年度の募集期間は7月31日までとなっている。

【報告事項】

- 1 「中小企業者に関する国等の契約の基本方針」改定の動き
5月に行われた自民党中小印刷産業振興議員連盟の総会で、経産省に知的財産権の取り扱いについて説明を求めたところ、具体的には示されなかったが、著作権の財産的価値等への配慮が進展するよう、必要な措置を追記するとの回答を得た。
方針が要望に沿う形で改定された場合は、「受注者である組合員企業にも改定内容の周知を図るため、全印工連で説明会を開催する。
- 2 遠隔教育システムによるコンテンツの提供
4月から「ダイバーシティセミナー基礎編」など9つの研修メニューの無料配信を開始した。
今後は課金システム等を整備し、平成30年度から有償・無償のコンテンツ配信を本格化させる。
録画収録版だけでなく、ライブ配信の試行も今年度中に行い、次年度の本格運用を目指す。
- 3 新印刷営業講座・印刷営業士認定試験の概要
各種講座の見直しを行い受講しやすくした。
- 4 資材動向
全印工連を含む日本印刷産業連合会から、日本製紙連合会に「印刷・情報用紙の値上げに反対します」と申し入れを行い、日本製紙連合会からは、「厳しい状況の下、会員企業独自の経営判断によるものであり、コメントは控えさせていただく」との連絡があった。

◇分科会・理事長会

- (1) 経営革新・マーケティング分科会 出村 委員長
(石川工組 副理事長)
- (2) 環境・労務分科会 土井 委員長
(三重工組 副理事長)
- (3) 組織・共済分科会 岩瀬 委員長
(愛知工組 副理事長)
- (4) 教育・研修分科会 大洞 委員長
(岐阜工組 常務理事)

- (5) 取引公正化分科会 鮎 委員長
(富山工組 副理事長)
- (6) 理事長会 四橋 議長
(岐阜工組 理事長)

◇全体会議(後半)

(1)分科会・理事長会報告

- ①経営革新・マーケティング分科会(出村委員長 石川県工組 副理事長)
事業承継支援として、「印刷業界のための事業承継・M&Aセミナー」を開催しているが、特に小規模事業所はM&Aへの拒絶反応が根強い。そのため、中部でセミナーを開く際は、タイトルや研修内容から「M&A」の文字を外し、「第三者への承継」という表現に変えることとした。組合員同士の協業を促すため、全国の組合員企業の商品やサービスを紹介するメールマガジン「共創ネットワーク通信」には、現在52社が登録。登録方法も簡易化されたので積極的な登録をお願いしたい。登録数が増えればスポンサー広告も得やすくなり、事業運営の貴重な財源になる。
- ②環境・労務分科会(土井委員長 三重県工組 副理事長)
「環境推進工場登録」取得のための講習会は、隣県の工組で共同開催するなどして登録者数の拡大を図りたい。印刷工場内でVOC(揮発性有機化合物)が一定レベルを超えると警報を発するVOC警報機は、有機溶剤による健康被害から社員を守るため、普及拡大に努める。労務関連では、全印工連が新たな研修メニューとして「知らなかったでは済まされない労働法と労働基準法改正案セミナー」を企画、各県で開催を検討したい。
- ③組織・共済分科会(岩瀬委員長 愛知県工組 副理事長)
組合員は各県とも減少傾向に歯止めがかからない。印刷会社だけでなく、製本や紙器など印刷関連会社にも組合加入を働き掛けていく必要があるのではないかと。共済加入キャンペーンは今年度、愛知と富山が重点工組となっている。加入促進に当たっては、担当委員や保険会社だけでなく、組合役員も同行し、加入のメリットを訴えることが求められる。
- ④教育・研修分科会(大洞委員長 岐阜県工組 常務理事)
全国的に開催工組が減っていた「印刷営業講座」に関しては、今の時代にマッチするよう、提案営業の知識、マーケティングの知識の習得に重点を置いた形に変更となった。国の認定資格「印刷営業士」試験も、従来の積算見積等に加え、マーケティングに関する記述問

題を盛り込むなど、講座内容に合わせて見直した。この印刷営業講座についても、遠隔教育システムを活用できれば、さらに受講者を増やせるのではないかと。DTP技能検定では、各県で開催する対策セミナーの内容に差異があるため、内容の統一を図りたい。

- ⑤取引公正化分科会(鮎委員長 富山県工組 副理事長)
官公需関連では、富山県は従来の指名競争入札だったが、透明性・競争性向上のため、四月から一般競争入札に変更した。「県内に印刷機械・設備を有する事業者」との入札要件も加わった。三重は地元自治体にも参加を呼びかけ、知的財産権に関する勉強会を5月に開いた。また官公需では、自治体側が正確に積算できるよう発注仕様書を整備することも重要だ。仕様書が明確でないと受発注側の解釈の違いで双方の積算精度に差異が生じる。知的財産権の帰属問題では、国の契約の基本方針がどのように改定されるのか注目したい。改定後は、全印工連で内容を解説するマニュアルを作成してほしい。そのマニュアルを使って地元自治体に対し、説明していきたい。
- ⑥理事長会(水谷理事長 三重県工組)
今年度も中部五県主催でポスターグランプリを開催する。9月29日に審査会、11月14日から6日間にわたり名古屋で入賞・入選展示会を、11月19日に入賞者表彰式を行う。作品展は岐阜でも独自に開き、地元の応募作品を中心に紹介する。中部地区協会の今年度下期会議は2月9日に名古屋で、次年度上期会議は6月15日に金沢で開催する。

以上、本上期会議は、愛知県工組鳥原副理事長の閉会の挨拶で終了した。なお、会議終了後に行われた交流会では、富山県工組の楠理事長が、自らエレキ・ギターを奏でバンドを率いての熱い演奏を披露し会場を大いに盛り上げた。



平成29年度第1回理事会

- 日 時：平成29年7月10日（月）午後2時～
 場 所：石川県印刷会館 2階会議室
 参 加 者：本人出席20名、委任状出席9名 出席合計29名
 議 題：報告事項
- 1、全印工連 平成29年度通常総会について
 - 2、中部地区印刷協議会 平成29年度上期会議について
 - 3、支部報告
 - 4、委員会報告
 - 5、石川県印刷関連団体協議会 平成29年度通常総会・セミナー
 - 6、「2017年全印工連フォーラム」の開催について
 - 7、全青協からの報告

「印刷会館について」の支部説明会を実施

金沢支部	日時：7月19日午後2時～	場所：石川県印刷会館	参加者：14名
加賀支部	日時：7月25日午後7時30分～	場所：加賀市商工会議所	参加者：5名
能登支部	日時：8月1日午後6時30分～	場所：割烹番伊（七尾市）	参加者：7名
小松支部	日時：8月3日午後2時～	場所：小松商工会議所	参加者：6名

以上の日程で、石川県工組の各支部の組合員を対象に、組合三役より老朽化が進む「石川県印刷会館」の現状報告を行い、各支部の組合員の皆様の忌憚のないご意見をお伺いした。今後の進め方について、大変貴重なご意見をいただく機会となった。

【国家検定】オフセット印刷技能検定試験

- 実技講習
- 実技試験
- 学科技術講習会

□実技講習

日 時：1級受験対象者 平成29年6月24日（土）
 午前9時～午後5時
 2級受験対象者 平成29年6月25日（日）
 午前9時～午後4時

場 所：石川県印刷会館 平版印刷研修室

主 催：石川県印刷工業組合

指 導：株式会社ドック・オトヨシ 音丸覚思氏

参加者：1級対象者5社7名、
 2級対象者8社12名 計19名

□実技試験

日 時：技能検定試験1級 平成29年6月26日（月）～6月28日（水）
 技能検定試験2級 平成29年6月28日（水）～7月1日（土）

場 所：石川県印刷会館 平版印刷研修室

主 催：石川県職業能力開発協会

技能検定員：石川県職業能力開発協会職員その他、当工組の技能検定員、検定員補佐

受験者：1級対象者5社7名、2級対象者8社12名 計19名

□学科技術講習会

日 時：平成29年7月7日（金）・8日（土）午前10時～午後5時

場 所：石川県印刷会館 2階会議室

主 催：石川県印刷工業組合

講 師：（社）日本プリンティングアカデミー 講師 大塚 彰氏

参加者：学科試験受験対象者他25名（10社）

□学科試験：平成29年8月27日（日）石川県地場産業振興センター

□学科試験合格発表：平成29年9月29日（金）

※平成30年度より、オフセット印刷技能検定試験の実技試験の実施方法が大幅に見直される予定です。

現在、当工組の「印刷技能検定運営委員会」と石川県職業能力開発協会との間で、調整を進めています。

NEW LITHRONE G26/G29
菊半裁・菊半裁寸延オフセット枚葉印刷機

& H-UV Innovative Curing System
革新的UV乾燥システム



KOMORI

次のビジネスステージへの戦略パートナー

新たなフォルムに先進機能を搭載

最高印刷速度 16,500 回転、厚紙にも高速安定性を発揮。近年高まっている UV 印刷※にもベストマッチの高品位印刷を可能にします。さらに、最新の各種システムや自動化装置を搭載することで、さらなるショートメイクレディーとトータルリードタイムの削減を実現し、多種多様な高付加価値印刷にも柔軟に対応します。

リスロン G26/G29 は、成熟した市場の中で、お客様の利益に直結する「時間コスト」「損紙削減」「付加価値の創出」に大きく貢献し、次のビジネスステージへの戦略パートナーとして真価を発揮します。

”H-UV”を搭載することにより、その速乾性とパウダーレス性能が、短納期と幅広い原反への対応に大きな効果をもたらし、商業印刷分野に大きく貢献します。

※UV印刷: H-UV、UV に対応



※写真のモデルはオプション仕様を含んでいます。

MADE IN JAPAN WITH STATE-OF-THE-ART TECHNOLOGY

KOMORI CORPORATION
www.komori.com

株式会社 小森コーポレーション 本社 〒130-8666 東京都墨田区吾妻橋 3-11-1 TEL.03-5608-7806
北陸営業所 〒939-8216 富山県富山市黒瀬北町2-5-2 TEL.076-422-5588



Visible Science for Life

私たち東洋インキグループの製品は人々の暮らしの中にあふれています。

私たち東洋インキグループは「目に見える科学」で人々の生活に貢献いたします。

TOYO INK 東洋インキ株式会社 関西支社 北陸営業部

〒920-0849 石川県金沢市堀川新町 2-1 井門金沢ビル 3 階 Tel: 076-232-6231 Fax: 076-232-6230

〒930-0814 富山県富山市下富居 1-5-1

Tel: 076-432-7511 Fax: 076-441-2074

www.toyoink.jp

石川県印刷関連団体協議会 平成29年度 総会及びセミナー

日時：平成29年7月24日（月）
 総会／午後2時～・セミナー／午後3時～
 場所：金沢市ものづくり会館 2階研修室
 主催：石川県印刷関連団体協議会
 共催：石川県印刷工業組合 経営革新マーケティング委員会
 参加者：（総会）会員参加32名、委任状出席36名 計68名、欠席46名
 （セミナー）36社56名
 セミナー：演題「低成長時代における印刷業の事業承継」
 講師 福田浩志氏
 （全印工連 経営革新マーケティング委員長、(株)ウエマツ 代表取締役社長）



今年度の石川県印刷関連団体の通常総会は、石川県印刷工業組合の北川和也副理事長の司会で始まり、吉田克也会長の挨拶のあと、議長に吉田会長を選出し議案の審議に入った。

今回、吉田会長の挨拶の中では、昨今、急速に進展を見せ始めている教育現場のIoT化について触れ、以前、全印工連が印刷議連を通じて、「教科書のデジタル化についての意見書」を当時の政府に提出した。しかし、文部科学省では、逆に教育現場でのIoT化を強力に推進している現状が見受けられる。石川県の印刷関連業界では、教科書関連に直接携わる所は少ないと思うが、今後、副読本などもデジタル化へ向けて動き始めていると思っている。

このような動きが身近に迫った時、石川県印刷関連団体協議会の会員の皆様と共に、新たな市場環境にも適応できるよう力添えをお願いしたいと述べた。さらに、印刷会館の老朽化に伴い、現在その対策を検討しており、今後一層のご協力をお願いしたいと締めくくった。

第1号議案 平成28年度事業報告及び収支決算の承認について、小杉善文専務理事より内容説明があり竹内照生監事が監査報告を行い、原案通

り承認された。次に、第2号議案 平成29年度事業計画及び収支予算(案)並びに会費の口数割当(案)承認の件について、吉田議長、小杉専務理事より提案説明が行われ、これも原案通り承認された。また、第3号議案 役員構成では、吉田議長より説明が行われ、今年度は、古川常務理事の死去に伴い1名欠員となる旨の説明を行い、会場より異議なしの声を受け、満場一致で承認され平成29年度通常総会が終了した。

引き続き行われたセミナーでは、小杉専務理事による司会で、講師の福田浩志氏のプロフィールの紹介で始まった。福田氏は自らの経歴に触れ、大手証券会社のトップ証券マンとして40年余り仕事をしてきたが、ある日、親族から(株)ウエマツの経営相談をして欲しいとの事がきっかけとなり、2003年より(株)ウエマツの経営に携わるようになった。その後、永年の証券マンの経験を活かし、印刷業界の事業形態の在り方を独自に分析して、真に「低成長時代における印刷業の事業承継」を実践。2015年には、東京商工会議所が主催する「第13回勇氣ある経営大賞」で優秀賞を受賞した。そして、今、業界で注目される印刷会社にまで押し上げた。一口に事業承継といっても様々なパターンがあり、M&Aを単純に企業買収として捉えるだけでは、本来の事業承継の目的は達成されないとし、自社の事例も含めてわかり易く説明をして頂いた。終わりに(株)ウエマツの「リーダーシップミーティング」を紹介するビデオコンテンツが上映され、講演を終えた。最後に吉田会長から福田氏へ謝辞が述べられ、本セミナーを終了した。

INFORMATION

会員短信

□代表者変更

金沢支部 (株)橋本確文堂 代表取締役 橋本光夫
 (平成29年3月30日)

■お悔み ~謹んでご冥福をお祈り申し上げます~

神田 稔様(金沢支部)
 カンダ印刷(株) 金沢市桂町イ54-1
 カンダ印刷創業者 平成29年6月7日ご逝去 81歳
 笹原新一様(加賀支部)
 (株)山代印刷 加賀市加茂町161番4
 代表者のご尊父 平成29年7月18日ご逝去 100歳

◇トピックス

第46回金沢ペーパーショウ（6月16日～18日／石川県産業展示館1号館）にて、昨年の第7回ポスターグランプリ上位受賞作品と石川県から応募した作品が展示されました。



今後の予定

平成29年

- 8月26日(土) 第21回ソフトボール大会
 金沢市専光寺ソフトボール場
 ※予備日:8月27日(日)会場:北部公園ソフトボール場
- 8月28日(月) 平成29年度 第2回理事会
 石川県印刷会館
- 9月2日(土) 第26回印刷の月記念ゴルフ大会
 能登カントリークラブ
- 9月5日(火) 第8回ポスターグランプリ応募締切
 愛知県印刷工業組合

10月6日～7日 2017全印工連フォーラム
 熱海後楽園ホテル(静岡県)

平成30年

- 1月6日(土) 石川県印刷関連団体協議会 新年互礼会
 ホテル日航金沢
- 1月12日(金) 平成30年新年理事会
 金沢石亭
- 1月14日(日) DTP技能検定 実技試験
 会場調整中(金沢市内)
- 2月9日(金) 中部地区印刷協議会 平成29年度下期会議
 キャッスルプラザ名古屋(愛知県)

SEARCH

<http://www.ishikawa-pia.jp> / E-mail : info@ishikawaken-pia.or.jp

GO